

セメント労働組合門司支部第五回年次大會

- 一、日時、昭和七年十月一日（自午後八時 至同 十時）
- 二、會場、門司市萬葉組合事務所
- 三、出席員數、七五名
- 四、會場に掲げたスローガン
  - 1 反動ファッショ徹底的撲滅
  - 2 會社が配當すれば職工定期昇給
  - 3 八時間制を全工場に實施
  - 4 解雇手當退職手當制定
- 五、議長 支部長 國木作太郎
- 六、大會の狀況

淺野セメント門司工場に於ては現在セメント労働組合門司支部（組合員約二〇〇名）の外に所謂御用組合（其の成立經過

に對して）たる庚午會（會員約三〇〇名）並に加島組の勞資一致會ありて其の關係複雑なり。  
 抑て本年度大會に於ては格別注目すべき事項はないが議案中、解雇手當退職手當の制定促進に關する件  
 は前二回の爭議に於ける解決條件として會社側の承認を與へたるところなるも未だ之を發表せざるが爲之に對して會社當局を糾弾したのである。

當日大會に於て祝辭を述べたる組合左の如し、  
 八幡職夫労働組合、小倉製鋼労働組合、海友同志會、  
 社會大衆黨八幡支部、海員組合門司支部、  
 社會大衆黨門司支部、福岡九州聯合會、官勞同志會、  
 尙大會の内容に就ては別紙印刷物の題である。

○印刷物